

令和7年度

広島大学光り輝き入試 総合型選抜Ⅱ型

歯学部歯学科

小論文

令和6年11月16日

自 9時30分

至 11時30分

答案作成上の注意

- 1 この問題冊子には、小論文の問題があります。総ページは4ページです。
- 2 解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚です。解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 3 受験番号は、解答用紙の所定の箇所に、必ず記入しなさい。
- 4 配付した解答用紙は、持ち出してはいけません。
- 5 試験終了後、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。

問 1 次の文章を読んで、「研究における創造性」とはどのようなものか、あなたの考えを 600 字以内で述べなさい。

創造性を育むにはオプションを活かすことと共に、何事もよく「考える」ということも大変重要です。私が勤めていた IBM には、「Think」という標語があちこちに掲げられていました。考えて考えて考え抜け、という社員の心得を説いた言葉です。アップル社のスティーブ・ジョブスも、「Think different」、つまりただ考えるだけではなく、違ったことを考えろ、と言っています。

これを受けて私が若い人に言いたいのは「Think unthinkable」、考えられないことを考えなさいということですね。私の場合、エネルギーが粒子状態になっているという、想像を絶するアンシンカブルなことをプランクが考え出し、それが古典力学を超える量子力学の発展に繋がりました。このように将来というものは必ずしも過去の延長線上にはない。現状維持、何もしないこと、伝統を守ることがリスクになることだってある。

藤尾秀昭 「1日1話、読めば心が熱くなる 365人の仕事の教科書」 274 ページ 致知出版社
ノーベル賞を取るための五か条 江崎玲於奈 2020年 から引用、一部改変

問2 次の文章を読んで、あなたの「努力と成果のモノサシ」について、600字以内で述べなさい。

何かを成し遂げた経験は非常に大切だと思います。

子どものころの遊びで言えば、「竹馬に乗れた」でも「ホームランを打った」でも「縄跳びの二重跳びができた」でもいい。どんなに小さなものでも何かを成し遂げるたびに、自分のなかに「努力と成果のモノサシ」ができます。

「これだけ努力すれば、これぐらいの成果が得られる」というモノサシ。それができると、不安な時間にも耐えられるようになってきます。そのモノサシをたくさん持つことが大切だと思います。

「どれぐらいがんばれば達成できるか」がわかれば、どんな状況でも、粘り強く、根気よく続けることができます。あるいは、そのモノサシがあると、ダメなことに対してあきらめがつく。「これを成し遂げるためには10年かかる」となれば、自分には向いているか、向いていないかがわかります。

どんなことでも、何かを始める時には、必ず不安は付きまとう。それでも、何にせよ、「やってみないとわからない」と私は思っています。だから、何かを始めた時には半分以上は解決していると、自分の経験則として感じています。

羽生善治 「捨てる力」 181～182 ページ 株式会社 PHP 研究所 2013 年 から引用

試験時間中に机の上に置いてよいもの(総合型選抜Ⅱ型)

- 本学受験票
- 配付した問題冊子等
- 黒鉛筆(和歌、格言等が印刷されているものは不可)
- 鉛筆キャップ
- シャープペンシル
- 消しゴム
- 鉛筆削り(電動式、大型のもの、ナイフ類は不可)
- 時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型のものは不可)
- 眼鏡
- ハンカチ
- 目薬
- ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)